＜様式1＞

平成 27年 06月 05日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	チャレンジグリーン住宅
グループの名称	とちぎの家　創造協議会
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	--

（グループ代表者）

代表者名	小堀　幸栄　代表者印
代表者所属先	株式会社　小堀建設
代表者構成員番号	Ⅵ-1
代表者所在地	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号
代表者電話番号	0287-43-3644

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社　小堀建設
事務局構成員番号	Ⅵ-1
事務局担当者名	玉木　伸夫　印
事務局郵便番号	329-2161
事務局所在地	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号
事務局電話番号	0287-43-3644
事務局FAX	0287-43-7266
事務局担当者E-mail	n-tamaki@kbr.co.jp

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	チャレンジグリーン住宅
２．グループの名称(必須)	とちぎの家　創造協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	--
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	栃木県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	小堀　幸栄
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社　小堀建設
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅵ-1
９．グループ代表者所在地(必須)	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号
１０．グループ代表者電話番号(必須)	0287-43-3644
１１．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社　小堀建設
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅵ-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	玉木　伸夫
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	329-2161
１５．グループ事務局所在地(必須)	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号
１６．グループ事務局電話番号(必須)	0287-43-3644
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	0287-43-7266
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	n-tamaki@kbr.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	1	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	1	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	
Ⅳ．プレカット	0	地域別グリーン化事業対象建物現場へ早急に運搬できるように合理性を重んじ、製材業者へ依頼するものとした。
Ⅴ．設計	0	施工業者の中の小堀建設の設計事務所である小堀建設設計事務所が地域別グリーン化事業の対象建物の設計を行うこととしたため。
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ．木材を扱わない流通	0	
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	栃木県産材	栃木県	栃木県産出材証明制度	1	国内

B．平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型（長期優良住宅）経験工務店＋未経験工務店の合計	10	戸			地域材加算合計	10 戸
	うち経験工務店による長期優良住宅　合計	8	戸	うち未経験工務店による長期優良住宅　合計	2 戸		
	うち申請が確実	4	戸	うち申請が確実	1 戸	地域材加算（うち申請が確実）	5 戸
	うち申請が未確定	4	戸	うち申請が未確定	1 戸	地域材加算（うち申請が未確定）	5 戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）　合計	6	戸	地域材加算合計	6 戸		
	うち申請が確実	3	戸	地域材加算（うち申請が確実）	3 戸		
	うち申請が未確定	3	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	3 戸		
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）　合計	0	戸	地域材加算合計	0 戸		
	うち申請が確実	0	戸	地域材加算（うち申請が確実）	0 戸		
	うち申請が未確定	0	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	0 戸		
C．平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物						
	うち申請が確実	0	棟	0	㎡		
	うち申請が未確定	0	棟	0	㎡		
D．当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール　(必須)	採択され、戸数が確定し次第事務局が中心となり、選定会議を開催し配分を決定し、各グループ構成員に書面で通知をする。						
E．平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅						
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績見込み		
					竣工済	戸	竣工予定　戸
	木造建築物						
	採択棟数	棟	採択床面積	㎡			

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
9	Ⅰ － 7	栃木県森林組合連合会		320-0046	栃木県宇都宮市西一の沢町	028-637-1450
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
9	Ⅱ － 2	有限会社　宮製材所		329-2743	栃木県那須塩原市南赤田３３２－１３	0287-36-0040
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
9	Ⅲ － 2	有限会社 宮製材所		329-2743	栃木県那須塩原市南赤田３３２－１３	0287-36-0040
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
地域別グリーン化事業対象建物現場へ早急に運搬できるように合理性を重んじ、製材業者へ依頼するものとした。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由
施工業者の中の小堀建設の設計事務所である小堀建設設計事務所が地域別グリーン化事業の対象建物の設計を行うこととしたため。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							○	○
9	Ⅵ － 1	株式会社 小堀建設		329-2161	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号	0287-43-3644	○	
9	Ⅵ － 3	高松建築		329-2752	栃木県那須塩原市三島４－２５－１２	0287-36-3661	○	
9	Ⅵ － 4	小泉建築		325-0016	栃木県那須塩原市東栄２－６－４	0287-63-2510	○	
9	Ⅵ － 5	金田建築		329-2746	栃木県那須塩原市四区町２４－２０６	090-2203-3137	○	
9	Ⅵ － 6	伊藤建築		324-0412	栃木県大田原市蛭田３９５	0287-98-2461	○	
9	Ⅵ － 8	株式会社 クリエイト		329-2161	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号	0287-43-4334	○	
9	Ⅵ － 9	株式会社 小堀住宅		329-2161	栃木県矢板市扇町2丁目6番32号	0287-43-3644	○	
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-2（長寿命型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
9	Ⅵ － 1	株式会社 小堀建設	134 戸	168 戸	2 戸	1 戸		○
9	Ⅵ － 3	高松建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸		
9	Ⅵ － 4	小泉建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸		
9	Ⅵ － 5	金田建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸		
9	Ⅵ － 6	伊藤建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸		
9	Ⅵ － 8	株式会社 クリエイト	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
9	Ⅵ － 9	株式会社 小堀住宅	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
VI．施工-3（高度省エネ型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
9	VI － 1	株式会社 小堀建設	134 戸	168 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
9	VI － 3	高松建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
9	VI － 4	小泉建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
9	VI － 5	金田建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
9	VI － 6	伊藤建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
9	VI － 8	株式会社 クリエイト	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
9	VI － 9	株式会社 小堀住宅	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		○
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	VI _		戸	戸	戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績
Ⅵ．施工-4（優良建築物）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
9	Ⅵ － 1	株式会社　小堀建設	134 戸	168 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	
9	Ⅵ － 3	高松建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
9	Ⅵ － 4	小泉建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
9	Ⅵ － 5	金田建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
9	Ⅵ － 6	伊藤建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
9	Ⅵ － 8	株式会社　クリエイト	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
9	Ⅵ － 9	株式会社　小堀住宅	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

＜様式 2-2･Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

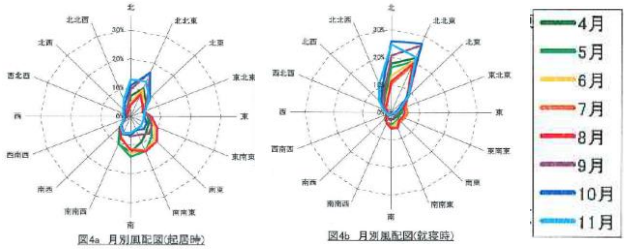
県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） チャレンジグリーン住宅	（地域型住宅供給対象地域） 栃木県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） とちぎの家　創造協議会	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	栃木県は山々に囲まれ、季節により寒暖の差が大きく、日中・夜間ごとに風向きが変わるため、風を取りこみ、さらに各居室の温度の均整化を図り、栃木県で多い脳梗塞・心筋梗塞の原因となるヒートショックを取り除くため、次世代省エネルギー基準の性能を標準とする。  図4a　月別風配図(起居時)　図4b　月別風配図(就寝時)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	木造在来軸組工法で施工し、また東日本大震災の被災地でもあるため耐震や制震に力を入れ、取り組んでいく。 さらに高齢化社会に対応した地域型長寿命住宅を建築する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当グループでは、栃木県におけるその気候や風土から生まれ、現在も継承されている伝統工芸(意匠性に優れ内外装に使える大谷石、、風合い、手触りの良い烏山和紙、繊細な職人技が光る鹿沼組子、匠の技の日光彫、故郷の土を感じることのできる益子焼など)の商品を住宅に備え付けることをデザインルールとしている。	◎
④ ①～③の背景	地域に密着し、地場産業の活性化、わが郷土の地域の気候を考慮し、子育て世代の家族や高齢者の安全安心な生活環境を目指し、自立循環型住宅、省エネ住宅を施工。 また、とちぎ材を利用し、森林の育成保護や木材管理にも力を入れ、林業従事者の労働環境向上にも大きく貢献する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	ルール：現場においてお客様に提供する木材の徹底した養生及び品質管理。 目標：お客様に大きな安心感を持っていただくための長期優良住宅さらに認定低炭素住宅の増産に取り組む。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	注文住宅が多いため、標準仕様の確定は難しいが、一定の仕様を定めることにより、価格やイメージの指標となるものを設ける。	◎
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	上記①同様、一定の仕様を定めることにより、年間供給戸数の目標を定め、価格・供給の安定化を図る。	◎
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	とちぎ材供給委員会、資材調達委員会を設置し、実施・検討体制を敷き、販売促進につなげる。 供給の際、とちぎ材供給委員会、資材調達委員会により、無駄な部分の削減項目の確認を徹底する。	◎
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	グループ企業への施工管理・指導、 公平な采配。	◎
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ基準の断熱基準をⅡ地域以上の性能にし、要求基準以上の長期優良住宅の性能を確保することとする。	◎
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	事務局が取りまとめ役となり、各現場進捗毎、検査内容を写真に収めることにより、見えなくなってしまう部分への信頼性を高める。 また、その施工指導をする。	◎
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	提出する見積り書において「一式」表示を撤廃し、詳細部分まで明記することにより、信頼性を高める。 また、木材の材種を表示する。	◎
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	地域特性(とちぎ材)を活かした各建築現場の完成見学会の開催。及びグループ内での進捗状況の確認、グループ内外への広報活動「見える化」。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		ルール：無駄の削減を目指した搬入材木店との徹底的な打合せ。 目標：現在の長期優良住宅、認定低炭素住宅の施工実績を2倍以上とする。 及び住宅生産体制向上のため、広報活動を行う。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チャレンジグリーン住宅	(地域型住宅供給対象地域) 栃木県
2．グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) とちぎの家　創造協議会	(結成年) 2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	サポート部門を創設し、定期メンテナンス、診断、点検方法の共通マニュアルを作成する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	メンテナンス、リフォームメニューを作成し、年に2回の定期訪問を実施。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	お引渡しの際に、住まいの管理手帳を進呈。 また、完成見学会にてDIY相談会を開催する。	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	とちぎの家　創造協議会に安全委員会を設置して、1カ月ごと委員会を開催する。	◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	お客様を共通の財産ととらえ、その他構成員でバックアップをする。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	品確法を規範とし、10年以降の有償保証期間を創設。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		ルール：季節ごとのご挨拶をする。 目標：冠婚葬祭等への参列により顧客状況の把握。	◎

エ．グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	長期優良住宅・認定低炭素住宅の仕様・実施説明会を定期的に行い、構成員のスキルアップを図る。 （第3者機関または公共機関を講師に招いて） 施工中の現場にて、営業、設計施工、建材メーカー等が合同で上棟・中間・完成後に定期的に勉強会を行う。	◎
	② ①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	①代表構成員である工務店が建売住宅を建築し、構成員が全員参加し、その後構造・仕上げ等、設備関係の勉強会を開催する（平成27年9月予定） ②建設現場において構成員のレベルの均等化を図るため隔週、勉強会を実践し定例化する。	◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	グループ構成員に積極的に長期優良住宅・認定低炭素住宅の施工を実施してもらい、6か月を目途に施工技術力のスキルアップする。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合 理化への取組	グループ構成員が指導的立場への成長を目的とし、時間・労力を削減し、より性能の良い住宅の安定的な普及に取り組む。	◎
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	10人以上	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	グループ内にネットワークを作り開催日時の発信・更新を行う。 及び広報委員会を設け、参加促進のための広報誌を作成する。	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	最新の国の制度や推進事業に対する勉強会を実施し、グループ全体で共有することにより、グループ内の施工技術の向上、知識向上を図る。 ・長期優良住宅の維持保全の徹底等の制度運用に係る技術的基盤の整備。 ・住宅性能表示制度等の関連制度の実態の把握による課題抽出と制度普及。	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	PDCAサイクルをまわす。サッシメーカー・断熱材メーカー・建材メーカーとの共同開発をする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		ルール：新しい「気づき」等があればグループ構成員で情報を共有できるよう広報メールを配信する。 目標：今後より多くのグループ構成員を増やすために、屋根関係・外壁関係・住環境設備関係業者など多くの業者と連携を図る。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） チャレンジグリーン住宅	（地域型住宅供給対象地域） 栃木県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称） とちぎの家　創造協議会	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位（必須）	主要構造材：柱・梁・桁・土台にとちぎ材を使用する。 主要構造材以外：大引き・小屋束・母屋・間柱・野縁・瓦桟等でもとちぎ材を使用する。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	主要構造材：構造材の材積の過半以上に産地証明されたとちぎ材を使用する。 主要構造材以外：構造材以外の部材の材積の過半以上に産地証明されたとちぎ材を使用する。	◎
	地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材・主要構造材以外の過半以上に、産地証明されたとちぎ材を使用することとする。 また、事務局が木拾い表の管理を行う。	◎
	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	地域別グリーン化事業対象建物現場へ早急に運搬できるように合理性を重んじ、製材業者へ依頼するものとする。 原木供給業者 → 製材業者（プレカット加工） → 現場供給	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	原木供給業者が情報を配信し、市場価格の情報を共有する。	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	月々の受注実績及び受注予定を事務局が発信し、定例会議を月々開催し、市場の動向を予測、討議する。	◎
c	①-1 畳の活用	若者にも受け入れられるように琉球風畳を提案する。	◎
	①-2 和瓦の活用	栃木県では農村が多くの歴史的・美観的にも和瓦を多く活用できる。	◎
	①-3 襖の活用	烏山和紙・鹿沼組子を使用し、地域の産業・住文化をアピールする。	◎
	①-4 障子の活用	和風住宅の伝統的な遮熱効果を謳う。	◎
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	日光彫、益子焼、ステンドグラス、大谷石を活用し内観・外観ともに「とちぎブランド」を押出し、建物の創造的価値を高める。	◎
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	建物の軒を深くした外観にし、とちぎの伝統的な夏型住宅デザインを取り入れる。	◎
	②地域の住まい方の継承につながる取組	地域の気候等を活かした風の取り込み・採光を考慮したパッシブデザインに取り組む。	◎
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	軒が深く、瓦が多ければ和風パッシブデザインを、また平坦に都市型の整然とした街並みであれば、それに呼応する都市型パッシブデザインを形成する。	◎
	④和の住まいの要素を取入れた取組	とちぎ材をふんだんに使ったエコハウスの認定住宅を作る。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		ルール：とちぎ材をふんだんに使い栃木の「習慣」を活かしていく。 目標：栃木県の良き習慣を活かし、パッシブデザインの長期優良住宅・認定低炭素住宅の普及を狙う。	◎

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・被災地から移住した方に安心していただける強固な家づくり及び施工の指導　・罹災した住宅の長期間にわたる点検、メンテナンス。	◎

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

・夏期における陽射しを深い軒で遮り、室温の上昇を抑える。（パッシブ）
・冬期には太陽の高度が低くなるので室内には自然の暖かい光を取入れる。（パッシブ）
・春・秋は、土地に応じて窓の配置、風向きを配慮することにより、快適な住宅を創造する。
・天井、床、壁には省エネ等級4以上の断熱材を使用する。
・プランを自律循環型住宅の発想でレイアウトし、自然の光や風を採りこみ、心地良い住環境を構築。
・シックハウス症候群の原因の一つであるホルムアルデヒドを材料に含まない断熱材「アクリアネクスト」を中心に使用し、目に見えない部分まで健康と安心にこだわる。
・断熱性を高めることによりヒートショックを防ぐ。
・空気の熱を採りこみ、圧縮することにより高温にし、その熱でお湯を作る給湯器「エコキュート」を使用し、光熱費の削減につなげる。
・防湿フィルムを採用した断熱材を使用することにより、内部の結露を防ぎ、家を長持ちさせる。
・窓の配置を考慮した複合サッシ+LowE複層ガラス(アルゴンガス入り)を使用することにより断熱性・遮熱性を高める。
・天井に吹き込んだ300mmの断熱材により、断熱・遮熱効果を高める。
・太陽光発電システムにより直接電気エネルギーに変換することで、光熱費を削減しながらCO_2排出量を減少させる。
・トップライトを適所に設置し暖かい空気を排出し、室内を快適な空間にする。
・床下断熱材ミラフォームΛ を使用し、押出し法ポリスチレンフォームでは限界とされていた断熱性を実現する。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

第3回計画変更

業種	種別	構成員番号	事業者名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号
Ⅳ.プレカット	新規追加	Ⅳ-2	有限会社　宮製材所	329-2743	栃木県	那須塩原市南赤田３３２－１３	0287-36-0040